

令和発祥の都

# 太宰府



太宰府天満宮

太宰府天満宮は、菅原道真を祀る霊廟です。901年に無実の罪によって太宰府に左遷された道真は、2年後にこの地で亡くなりました。埋葬のために亡骸を運んでいた御車の牛が突然動かなくなり、不思議に思った人々はその場所を墓所とし、その上に社殿が造られたといわれています。境内は梅・楠・花菖蒲などが四季を彩り、悠久の歴史をしのばせる様々な神事が今も受け継がれています。



坂本八幡宮

もとは戦国時代の勧進と伝えられている神社で、祭神は応神天皇。坂本地区の守り神として、地元の方々によって大切に祀られてきました。



戒壇院

戒律（僧が守るべき道德規範や集団規則）を日本に伝えた唐僧・鑑真は、観世音寺にて日本で初めての授戒を行いました。戒壇院は761年、観世音寺に西海道の授戒の場（日本三戒壇のひとつ）として設けられました。



大宰府政庁跡

「都府楼跡」の名でも親しまれる、7世紀後半から12世紀前半にかけて、地方最大の役所「大宰府」が置かれた場所。九州全体の政治の中心であり外国との外交施設としても機能しました。大きな礎石は当時立派な建物があったことを物語り、周辺の景観は古代の面影を残しています。大伴旅人が長官として執務し、菅原道真も漢詩に詠んだ当時の壮観なすがたは、ぜひVRアプリをご覧ください。

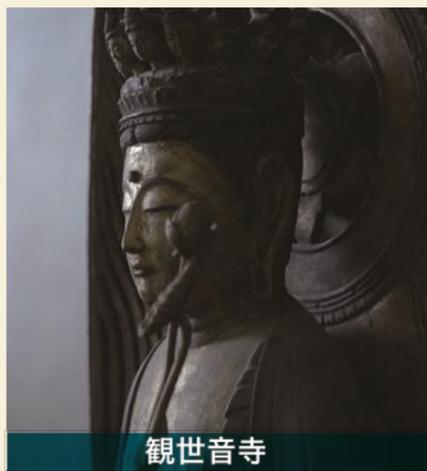


大宰府展示館

大宰府跡の調査で見つかった遺構を保存・公開している施設。博多人形の「梅花の宴」ジオラマはここで見ることができます。市内の歴史に詳しい史跡解説員ボランティアも充実しています。

・月曜休館 9:00～16:30 / 092-922-7811

天智天皇が母・斉明天皇の供養に発願した寺院で、西海道（九州）の仏教寺院の頂点となる大寺院でした。宝蔵に収蔵された古代九州を代表する文化財・仏教美術は必見です。



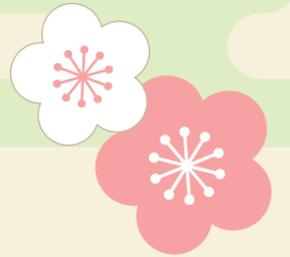
観世音寺

お問い合わせ：太宰府市観光推進課 ☎092-921-2121

太宰府市公式ホームページ：http://www.city.dazaifu.lg.jp/  
太宰府観光協会ホームページ：https://www.dazaifu.org/



初春の令月にして  
気淑く風和ぎ  
梅は鏡前の粉を披き  
蘭は珮後の香を薫ず



令和発祥の都、太宰府市。  
Beautiful Harmony Dazaifu City



## 令和発祥の都 太宰府

今から約1300年前、大宰帥（大宰府の長官）として赴任してきた大伴旅人により、当時中国から渡来した非常に高貴な花であった梅の花を主題に、和歌を詠みかかず宴がここ太宰府の地で開かれました。

この「梅花の宴」で歌われた歌は日本最古の歌集『万葉集』に収められ、その序文を引用して、元号「令和」は定められました。「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という新しい元号の願いは、まほろばの古都太宰府で開かれた春の宴を思い起こさせます。

## 古代日本の「西の都」

1300年前、この地には地方最大の役所「大宰府」が置かれ、水城や大野城など前代の要塞を利用し、その中に碁盤目の街区（大宰府条坊）を設けた、都のすがたをした都市がありました。ここは九州の政治・行政の中心地であると同時に、外国からの使節を招き入れる外交の拠点でもありました。都からは大伴旅人のような優れた政治家が派遣され、都や外国から新しい文物が集まっていました。この地で「梅花の宴」が開かれた背景には、このような当時の太宰府の文化性・先進性があるのです。

## 大伴旅人邸跡はどこ？

「梅花の宴」が開かれた大伴旅人の邸宅については、いくつか推定地があり未だ特定はされていません。跡地の候補としては、大宰府展示館東側の月山東地区官衙、大宰府条坊の中、大宰府政庁跡北西に位置する坂本八幡宮一帯などです。このようなことから、坂本八幡宮は「令和」ゆかりの神社として親しまれています。

ようこそ

「令和発祥の都」太宰府へ

さかのぼる事1300有余年、この地には「大宰府」という政庁が置かれ、政治、外交、防衛、文化の要衝として繁栄しました。

当時の様子は万葉集にも描かれ、新元号「令和」の由縁ともなりました。今なお時空を超えて往時を偲ばせる歴史、文化遺産が多数残されており、

皆様にとって古都大宰府の滞在が素敵な時間となりますことを心から願っております。

太宰府市長 楠田大蔵

